

報道機関各位

問い合わせ:社会教育課 文化財係

担 当 者:猿渡・瓜生

連 絡 先:0944-32-9183

地域で守り受け継ぐ新開能

～5年ぶり 寶満神社能舞台にて奉納能上演～

みやま市高田町新開地区で伝承されている新開能は、公式には「ほうまんじんじゃほうのう寶満神社奉納

のうがく能楽」といい、北新開・南新開地区の人々により継承されています。

舞に使用される衣裳・能面・用具は、昭和 23 年に柳川の立花家から譲りうけたもので、奉納能とともに昭和51年に県指定無形民俗文化財に指定されました。

現在は、毎年10月第3土曜日に新開能狂言保存会により奉納上演されています。

今年は、5年ぶりに寶満神社能舞台にて行われます。また、子どもたちによるお謡三番は、昨年に引き続き行われます。

■日 時 令和6年10月19日(土) 13:00上演開始～17:00終了予定

■場 所 寶満神社能舞台(みやま市高田町北新開270)

※雨天の場合はまいピア高田多目的ホール能舞台

※新開能 (昭和51年4月24日 県無形民俗文化財指定)

寶満神社での奉納能楽は享保元(1716)年に柳川藩主立花鑑任(あきたか)が祈願成就のため、寶満神社で、能楽師による能楽を奉納したことが始まりといわれます。

明治35年頃から神社氏子たちにより奉納されるようになり、その後、新開地区の人々によって現在も受け継がれています。能楽師・狂言師ではなく地元の人が能・狂言を上演するというのが大きな特色で、高く評価されています。



■番組 お謡^{うたい}三番(小学生) 13:00~(10 分程度)

高砂^{たかさご}(能) 13:10~(1 時間程度)

附子^{ぶす}(狂言) 14:10~(20 分程度)

井筒^{いづつ}(半能) 14:30~(30 分程度)

雁礫^{がんつがて}(狂言) 15:00~(30 分程度)

船弁慶^{ふなべんけい}(能) 15:30~(90 分程度)

※時間はあくまでも予定です

■アクセス 西鉄開駅から徒歩3分、JR 渡瀬駅から徒歩10分

駐車場は、まいピア高田またはヨコクラ病院職員駐車場南側をご利用ください。

